

全国学力・学習状況調査の活用に係る動画

令和5年度の調査概要と 本県の結果について



千葉県総合教育センター

全国学力・学習状況調査の概要

目的

- (1) 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- (3) (1)、(2)を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

内容

- (1) 教科に関する調査
国語、算数・数学、追加科目
(R4は小中学校で理科、R5は中学校で英語を実施)
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
児童・生徒質問紙、学校質問紙

全国学力・学習状況調査の概要

調査問題作成の基本的な考え方（抜粋）

調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等に役立てるという視点から、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題を出題すること。

教科に関する調査について

教科に関する調査の本県結果

教科に関する調査結果（平均正答率）経年変化 ※千葉市含む

単位：％

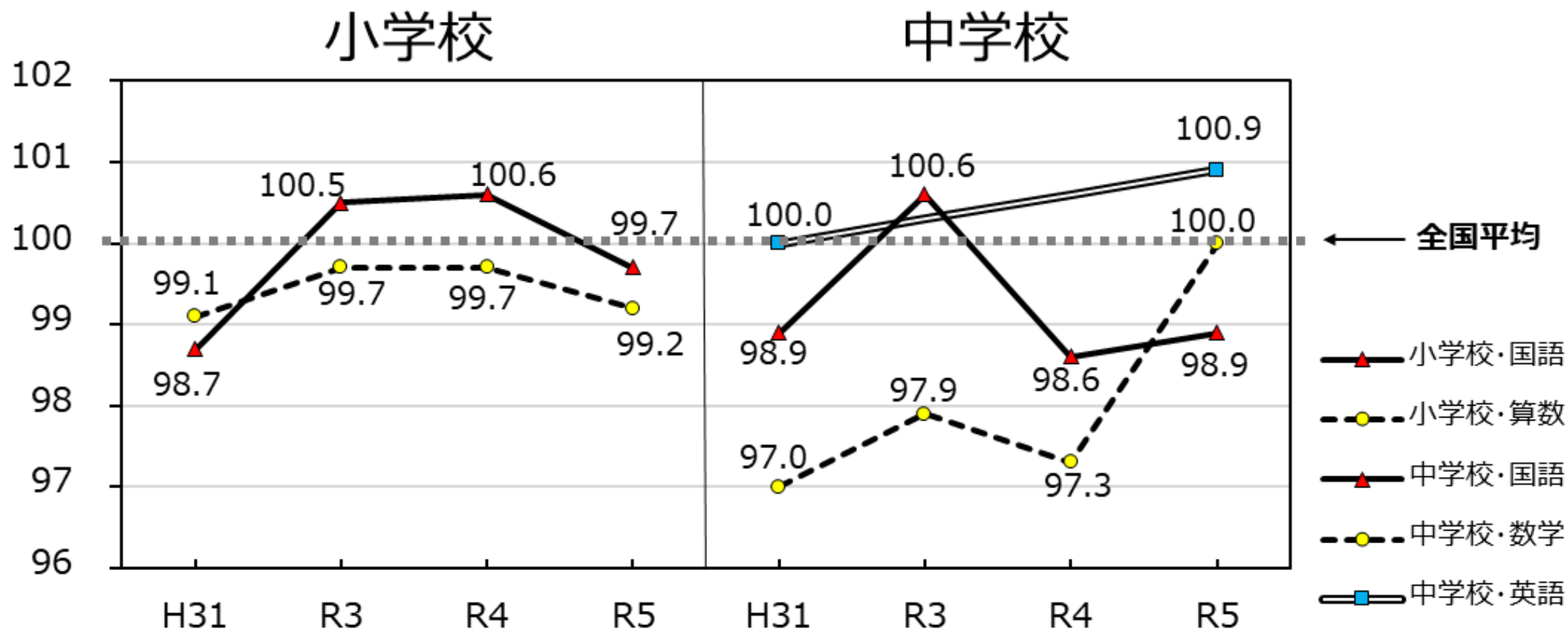
小学校	H31本県(全国)	R3本県(全国)	R4本県(全国)	R5本県(全国)
国語	63 (63.8)	65 (64.7)	66 (65.6)	67 (67.2)
算数	66 (66.6)	70 (70.2)	63 (63.2)	62 (62.5)
中学校	H31本県(全国)	R3本県(全国)	R4本県(全国)	R5本県(全国)
国語	72 (72.8)	65 (64.6)	68 (69.0)	69 (69.8)
数学	58 (59.8)	56 (57.2)	50 (51.4)	51 (51.0)
英語	56 (56.0)	英語は3回に1回程度実施		46 (45.6)

※数値は文科省発表によるものであり、H28以降、都道府県の平均正答率は四捨五入した整数値で公表されている。

※中学校英語の値は「聞くこと・読むこと・書くこと」調査に関するもので、「話すこと」調査については公表されない。

令和5年度の本県結果 教科に関する調査

教科別平均正答率の指数 経年変化 ※千葉県含む
 (平均正答率の指数：全国平均を100としたときの本県正答率の割合)



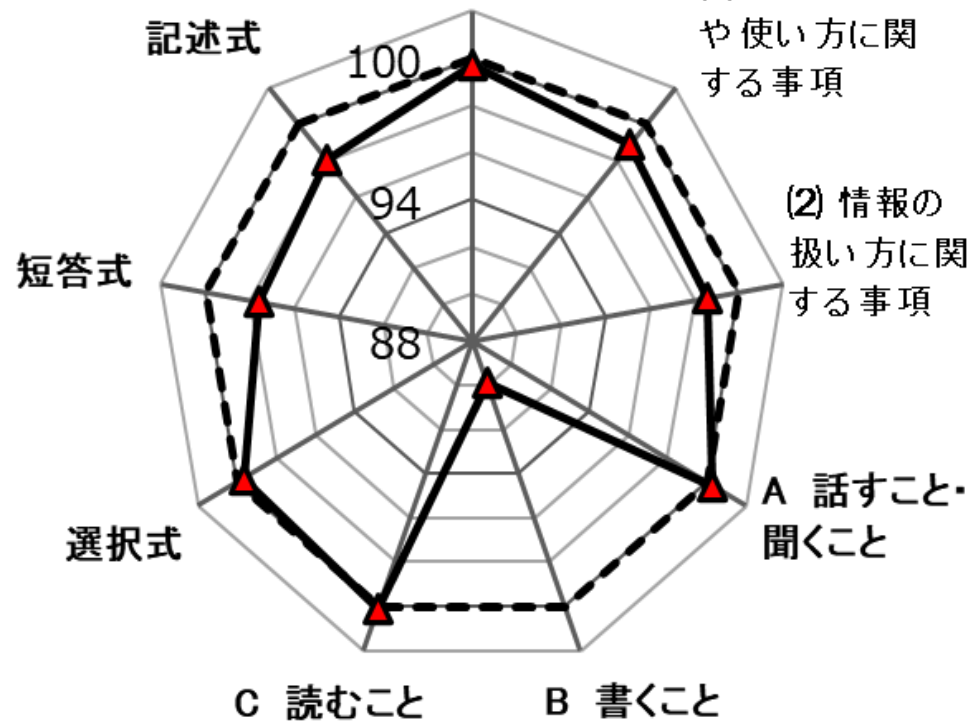
※中学校・英語は、H31に初めて調査が実施された

令和5年度の本県結果 教科に関する調査

教科に関する調査結果【小学校】（項目別平均正答率の指数）※千葉市含む

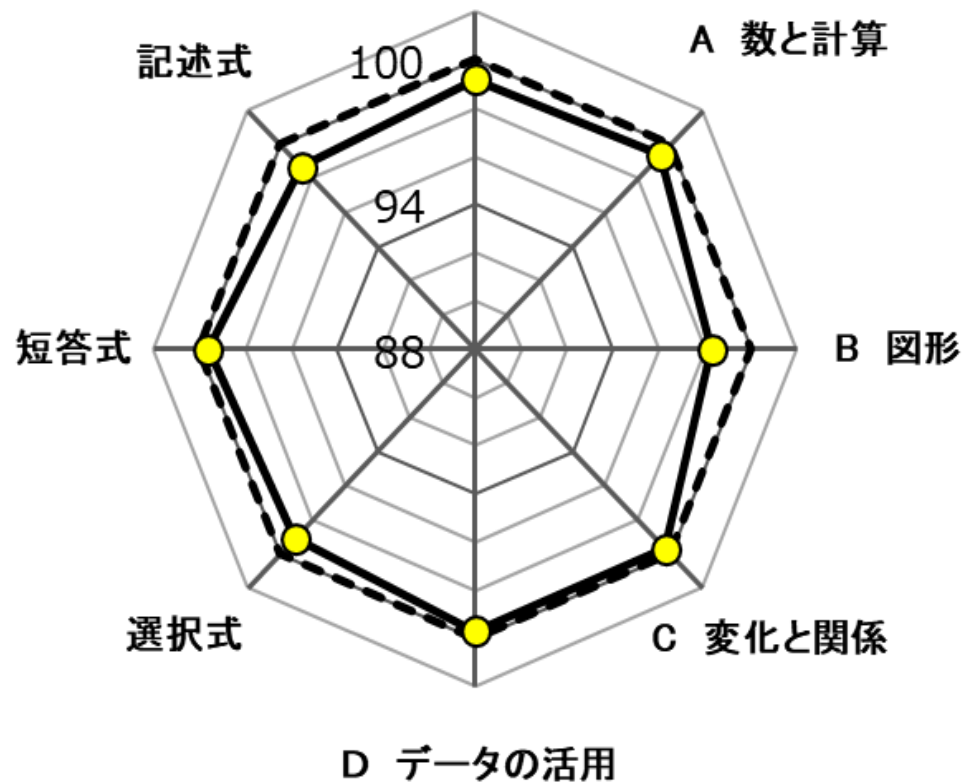
小学校・国語

全体



小学校・算数

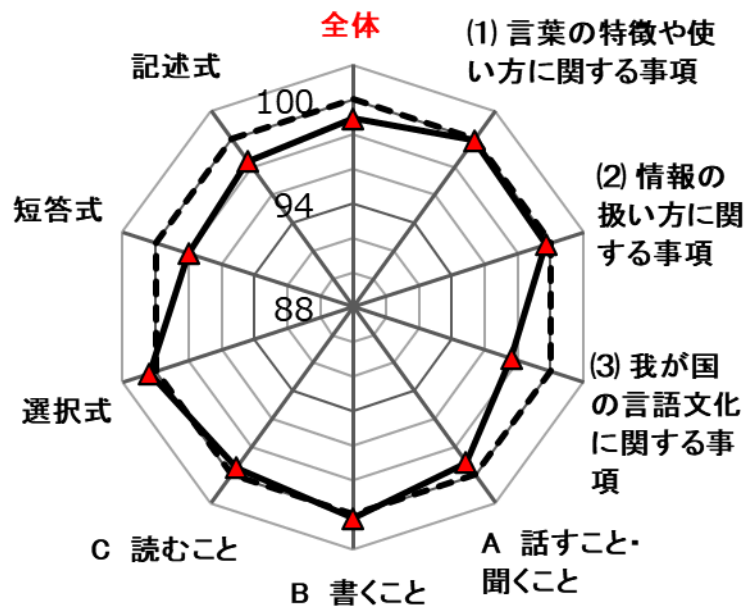
全体



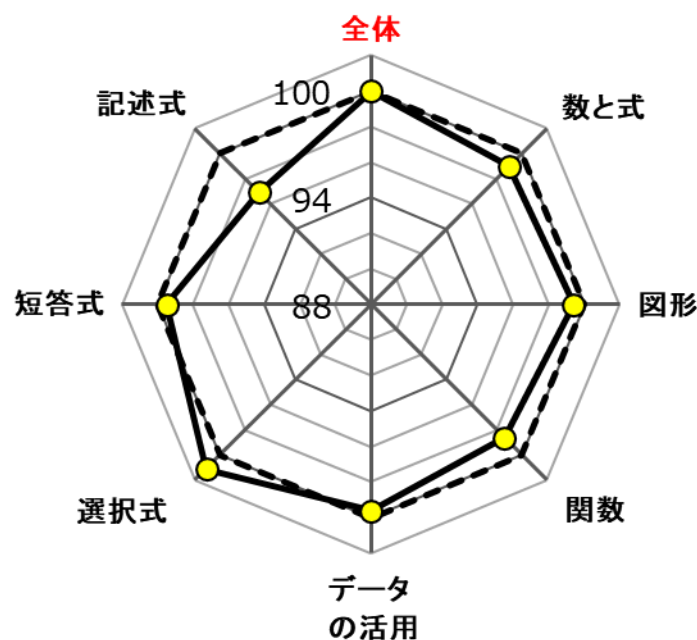
令和5年度の本県結果 教科に関する調査

教科に関する調査結果【中学校】（項目別平均正答率の指数）※千葉市含む

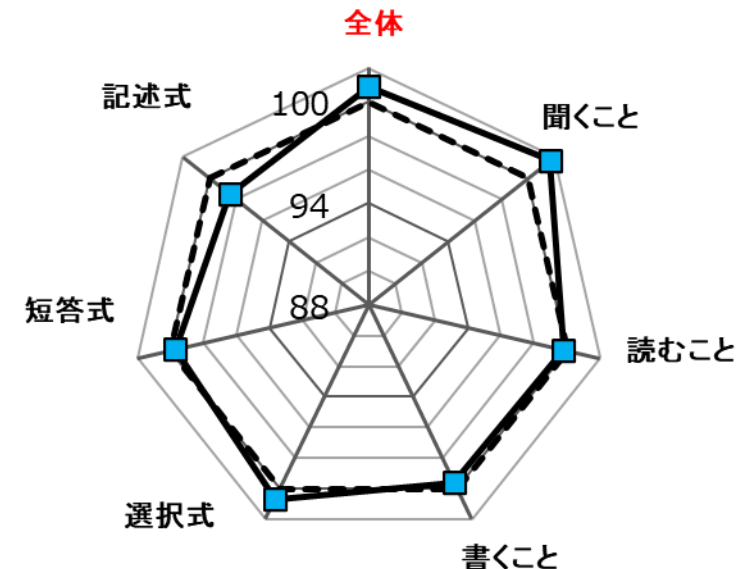
中学校・国語



中学校・数学



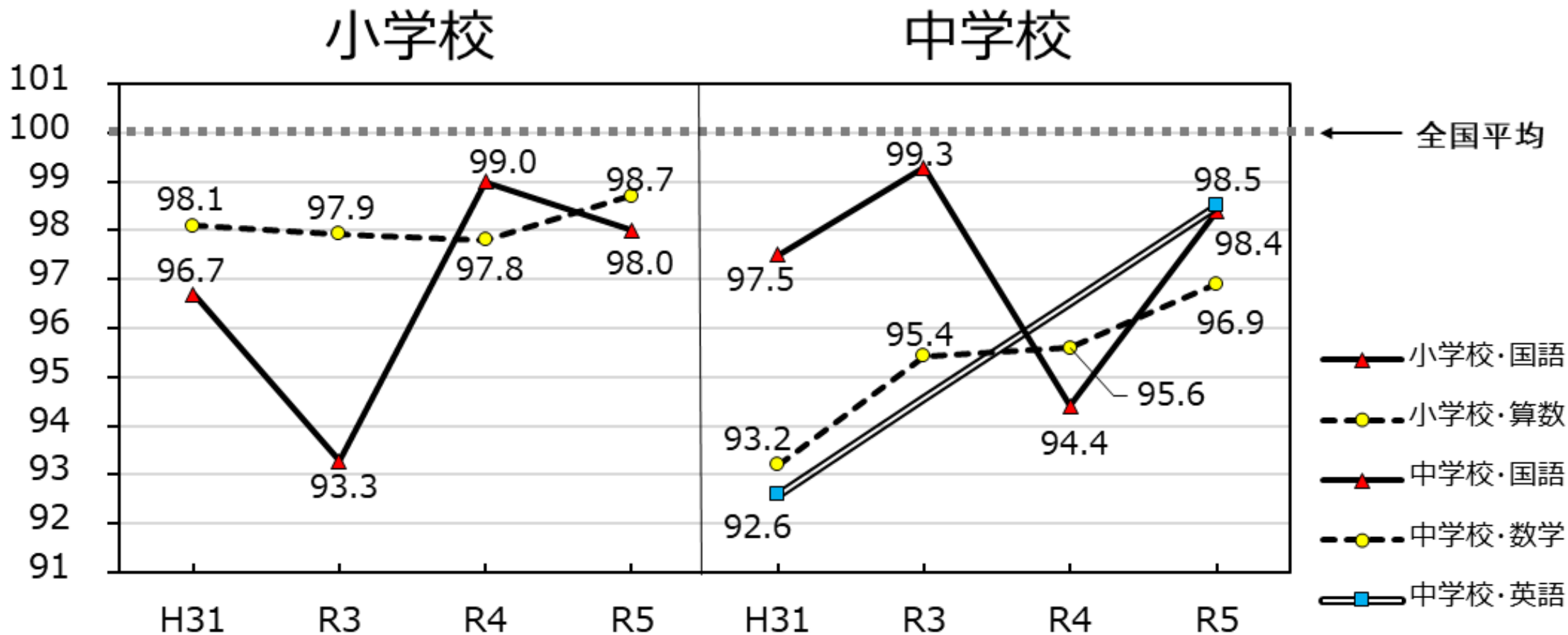
中学校・英語



※中学校英語の値は「聞くこと・読むこと・書くこと」調査に関するもので、「話すこと」調査については公表されない。

令和5年度の本県結果 教科に関する調査

「記述式で解答する問題」に対する教科別平均正答率の指数 経年変化
※千葉県含む



※中学校・英語は、H31に初めて調査が実施された

質問紙調査への回答状況確認のポイント

質問紙調査の概要

児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

文部科学省公表資料より作成

回答状況確認のポイント

視点① 児童生徒の生活習慣や学習習慣、自己肯定感に関する質問

視点② 児童生徒質問紙と学校質問紙でリンクしている質問

令和5年度の本県結果 質問紙調査

【児童生徒質問紙33(小)37(中)】5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（※千葉市を含む結果）

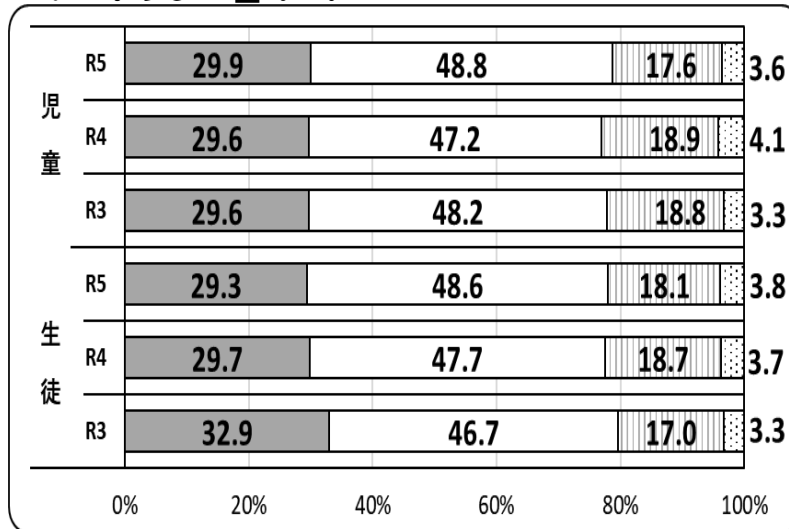
回答選択肢

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- ▨ どちらかといえば、当てはまらない
- ▩ 当てはまらない

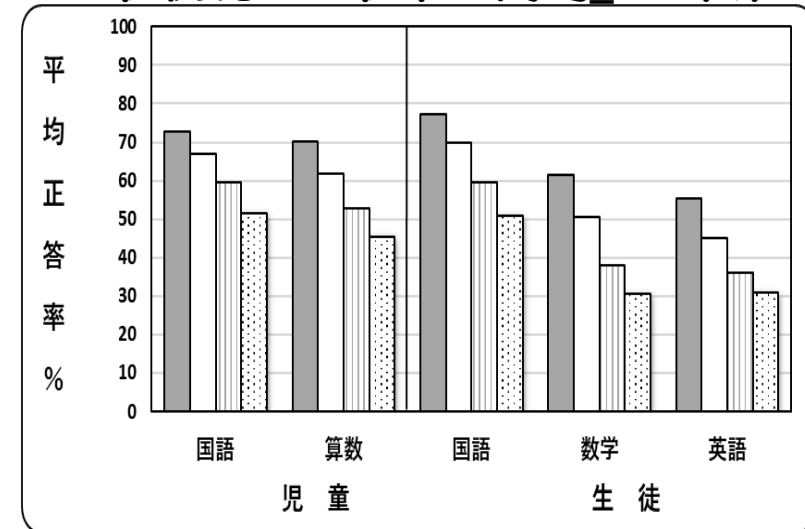
＜全国との比較_R5本県＞



＜経年変化_本県＞



＜回答状況と正答率の関連_R5本県＞



【肯定的回答】 小学校：全国より－0.1ポイント 中学校：全国より－1.3ポイント

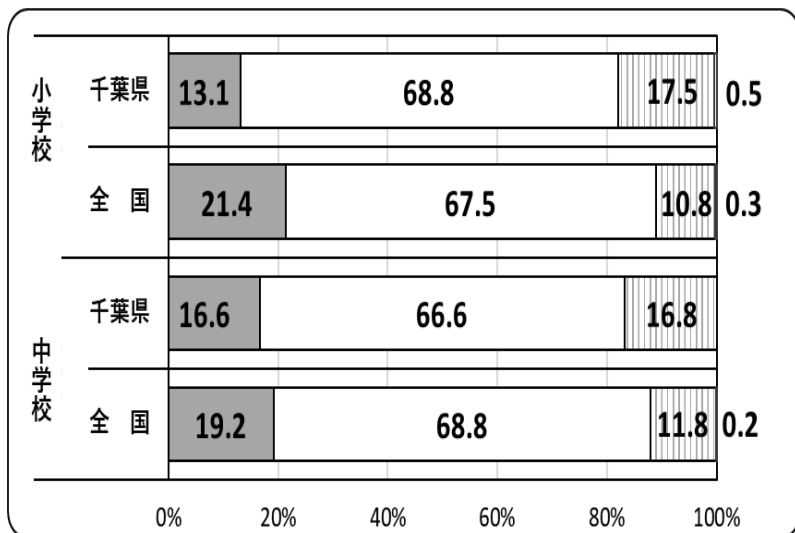
令和5年度の本県結果 質問紙調査

【学校質問紙26(小)26(中)】調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか（※千葉市を含む結果）

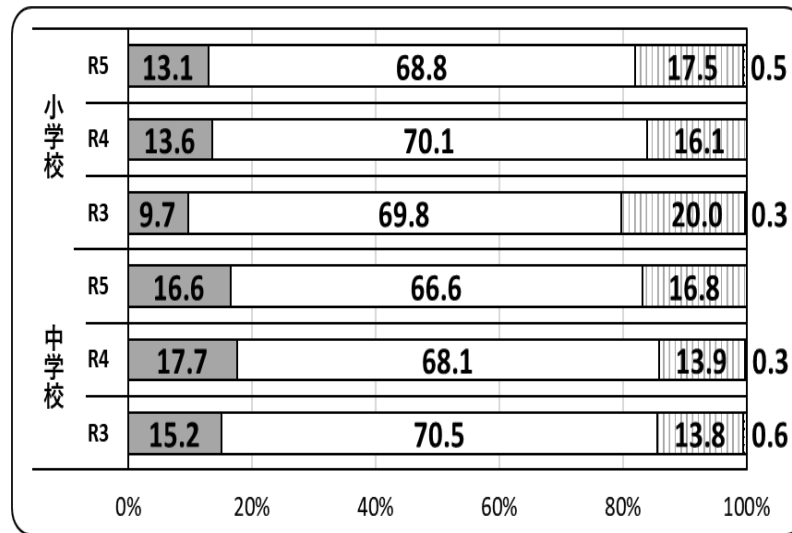
回答選択肢

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- ▨ どちらかといえば、そう思わない
- ▩ そう思わない

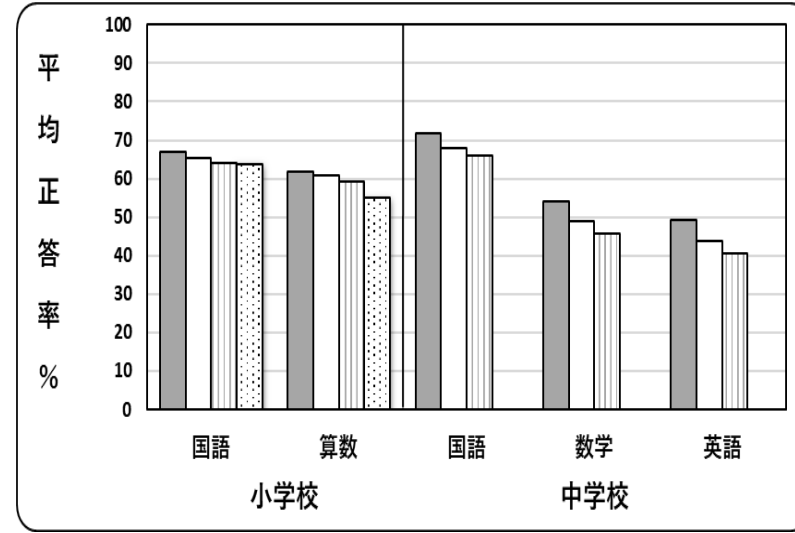
＜全国との比較_R5本県＞



＜経年変化_本県＞



＜回答状況と正答率の関連_R5本県＞



【肯定的回答】 小学校：全国より－7.0ポイント

中学校：全国より－4.8ポイント

令和5年度の本県結果 質問紙調査

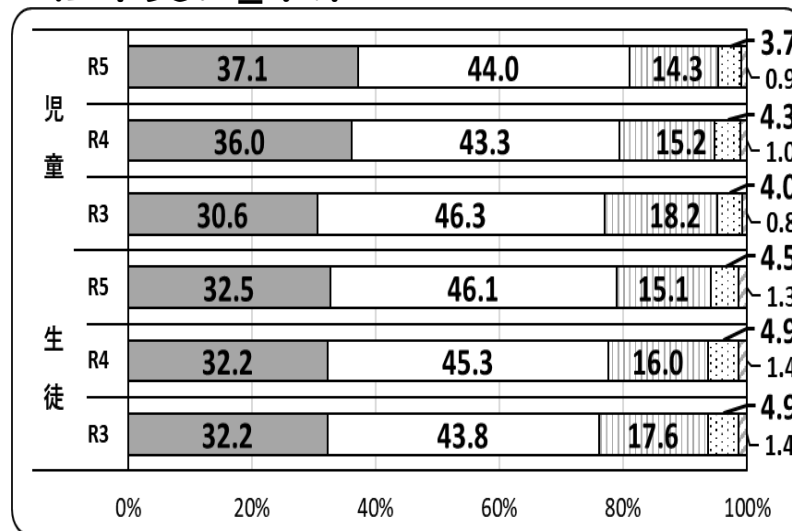
【児童生徒質問紙36(小)40(中)】学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか (※千葉市を含む結果)

- 回答選択肢
- 当てはまる
 - どちらかといえば、当てはまる
 - ▨ どちらかといえば、当てはまらない
 - ▩ 当てはまらない
 - ▧ 学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を行っていない

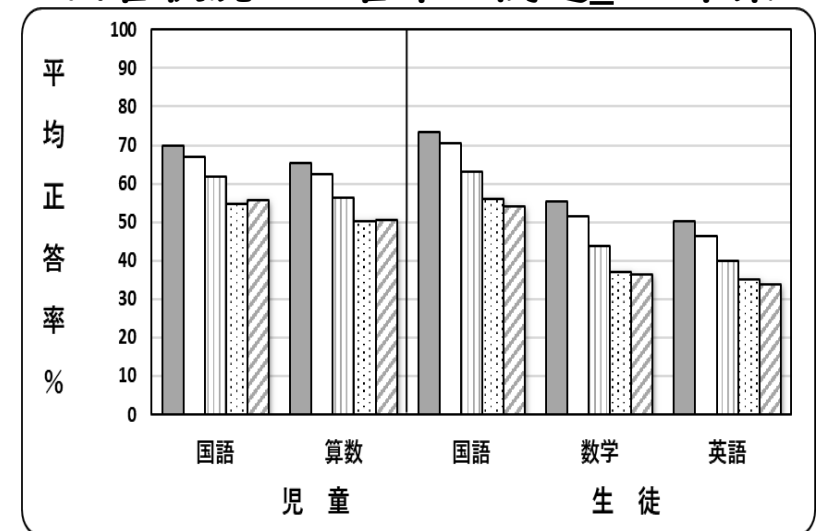
<全国との比較_R5本県>



<経年変化_本県>



<回答状況と正答率の関連_R5本県>



【肯定的回答】 小学校：全国より-0.7ポイント 中学校：全国より-1.1ポイント

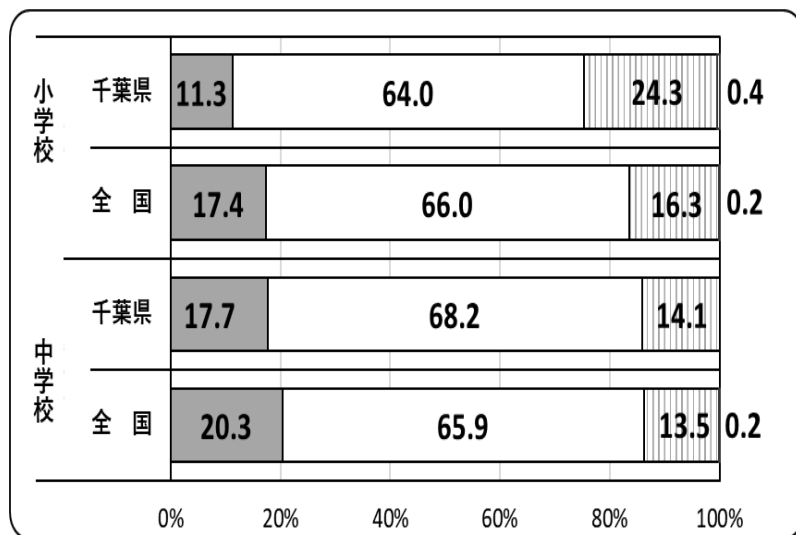
令和5年度の本県結果 質問紙調査

【学校質問紙29(小)29(中)】 調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（※千葉市を含む結果）

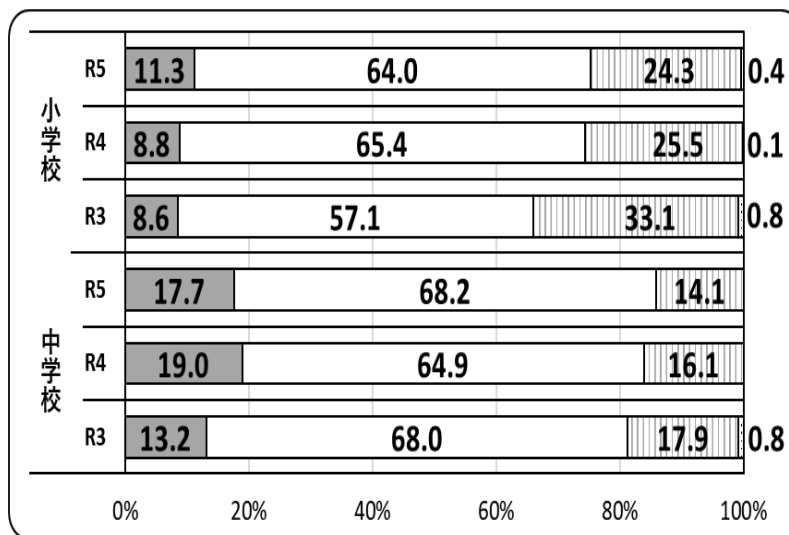
回答選択肢

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- ▨ どちらかといえば、そう思わない
- ▩ そう思わない

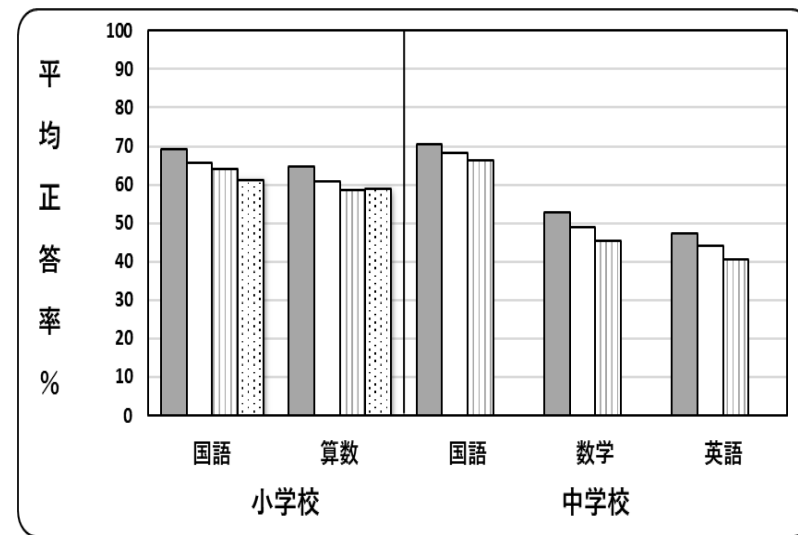
<全国との比較_R5本県>



<経年変化_本県>



<回答状況と正答率の関連_R5本県>



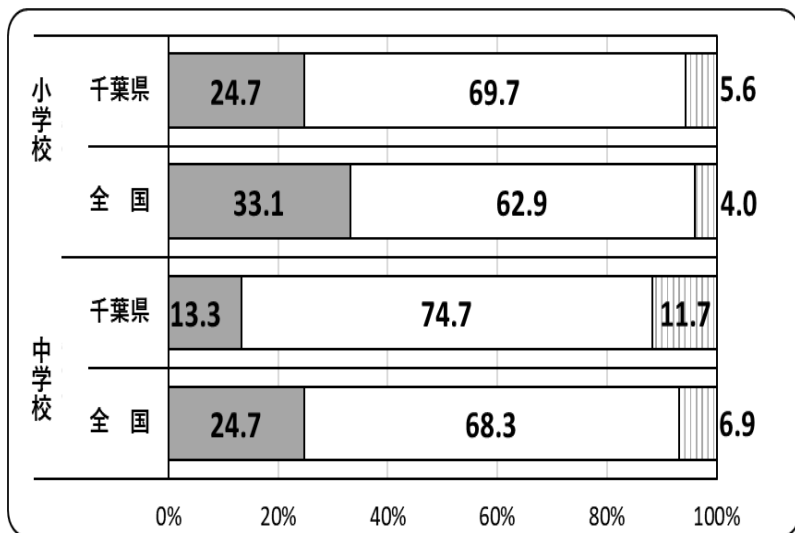
【肯定的回答】 小学校：全国より－8.1ポイント 中学校：全国より－0.3ポイント

令和5年度の本県結果 質問紙調査

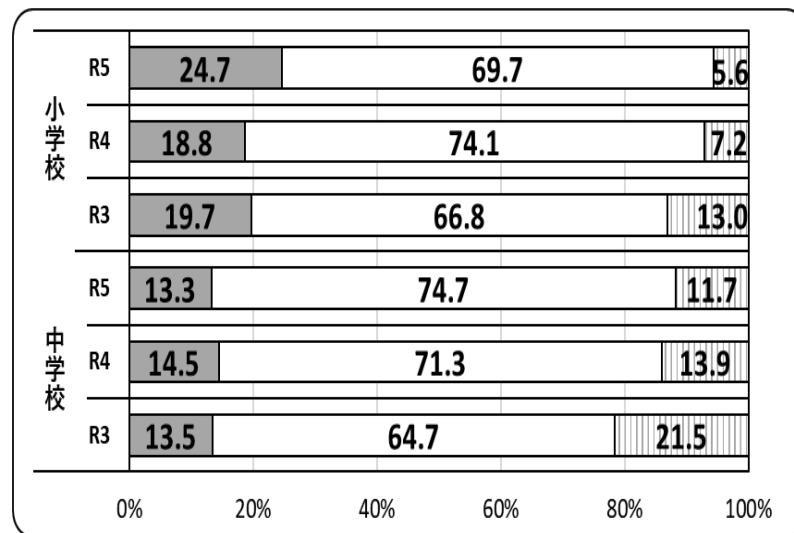
【学校質問紙78(小)86(中)】 令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか（※千葉市を含む結果）

回答選択肢 よく行った 行った 全く行わなかった

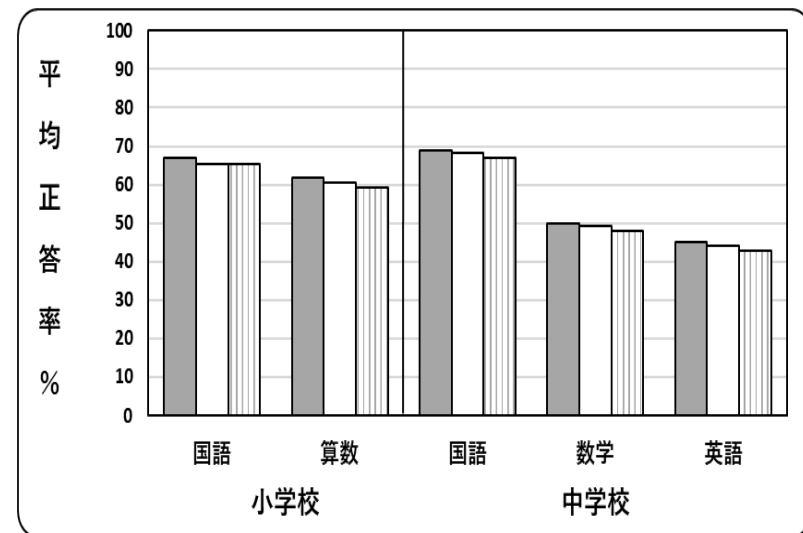
＜全国との比較_R5本県＞



＜経年変化_本県＞



＜回答状況と正答率の関連_R5本県＞



【肯定的回答】 小学校：全国より－1.6ポイント 中学校：全国より－5.0ポイント

全国学力・学習状況調査の活用に係る動画

令和5年度の調査概要と 本県の結果について



千葉県総合教育センター